記者発表資料

令和２年１月２３日
最上川水系水質汚濁対策連絡協議会

油の流出に注意！！

～　令和２年１月は水質事故が１１件発生　～

暖房器具を使用するこの時期は、灯油の流出事故が多発しており、原因の多くは、ホームタンクから小分け中にその場を離れてしまううっかりミスや送油配管が破損し漏れ出してしまう点検の怠りによるものとなっています。給油時に目を離さないことや、日頃の点検を心がけましょう。

もし油を流出させてしまったら、消防署、お住まいの自治体等にすぐに通報しましょう。通報が早ければ早いほど、下流への影響が小さく済みます。

最上川水系の水質事故発生件数は、国が管理する東北１２水系の中で最も多く、近年ワースト１位（平成 26 年から５年連続）が続いています。

最上川の水は、上水道、農業用水等多目的に利用されており、油が流出すると多方面に多大な影響が発生します。美しい最上川を守ため、油の流出に注意しましょう。

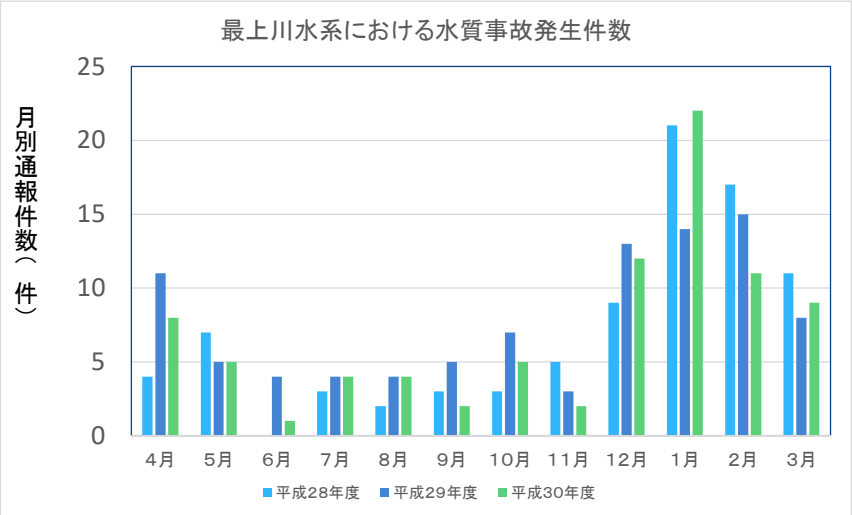

図-1 水質事故の約５０%は 12・1・2 月に発生
令和 2 年 1 月は既に 11 件発生（1 月 20 日時点）

＜発表記者会：山形県政記者クラブ＞

問い合わせ先等

（最上川水系水質汚濁対策連絡協議会　事務局）
国土交通省　山形河川国道事務所　　TEL：023-688-8942
副所長　高橋（たかはし）　秀（しげる）　（内線 204）
河川管理課長　藤原（ふじわら）　孝徳（こうとく）　（内線 331）

国土交通省

※最上川水系水質汚濁対策連絡協議会（会長 国土交通省 東北地方整備局 河川部長 ： 国土交通省、経済産業省、山形県、山形県警察本部、最上川水系に所在する 32 市町村、東北電力（株）で構成）は、最上川水系の河川について、河川水質汚濁対策に関する関係機関相互の連絡調整を図ることを目的として、昭和 47 年 3 月 28 日に設立されました。

参考資料

令和２年１月発生の水質事故状況

事故１
１月６日　１４：２３通報　村山市楯岡地内　水質事故
ホームタンクから小分け中にその場を離れたため、灯油約２００Ｌが流出した。
山形河川国道事務所では、オイルフェンスを設置し最上川への拡散を防止した。



事故２
１月６日　２０：４０通報　長井市栄町地内　水質事故
ホームタンク開閉レバーの故障が原因で灯油約２５０Ｌが流出した。
山形河川国道事務所では、オイル吸着フェンスを設置し最上川への拡散を防止した。

